

手簿

1	牧野博士日程
2	造林主任會議
3	森林主事講習終了
4	三村博士日程
5	森林文化展出品
6	山村の遺利講習
7	優良種子配給
8	今夏の登山案内

植物學界の權威

牧野博士の指導日程

高知博物會講習會講師として、久し振りに歸郷されたる理學博士牧野富太郎先生には去る三十日局構内栽培植物を視察されたるが、特に希ひて魚梁瀬、白髮兩國有林に迎へ、實地指導及植物鑑定をされた。その日程次の通り

八月五日、高知發、魚梁瀬管轄管内西川事業所着泊

八月六日、千本山保護林及甚吉森にて指導調査の上、石仙泊

八月七日、午前、採集植物鑑定の上、午后高知着泊

八月八日、本山管轄管内白髮山作業所着泊

八月九日、白髮山國有林にて指導調査の上、本山町泊

八月十日、歸全山の植物調査の上、歸高解散

指導を受けたる氏名

(於 魚梁瀬國有林)

野根 廣谷竹春、川島三男、廣部正敏
奈半利 谷口、山村健作、弘井彦吉
安藝 山崎虎之助、駒木稔重、多木三省
馬路 伊藤一之
魚梁瀬 中西正道、樽本博、田中滿太郎、

五六

恒久策

- 一、町村財政調整交付金制度を速に確立すること
- 二、蠶絲業に對する統制法を制定し生産及販賣の統制を計ること
但し生産制限に對しては三ヶ年間相當補償をなすこと
- 三、窮迫せる山村に對し政府所有米の無償拂下
- 四、山林公共團體の經營醫療機關に對し助成金を交付すること
- 五、市町村立尋常小學校員の臨時國庫補助法は繼續すること
- 六、國庫全額負擔による巨救事業を實施すること
- 七、町村農會技術員の國庫全額補助
- 八、自給肥料改良造成指導獎勵補助を繼續すること
- 九、自家用酒、煙草の自家製造を許すこと

佐々木秋穂、灘波博、荒木健、久保

正泉、庄司徳四郎

局 常石雅實、和田豊洲、安岡博、宮崎輝

藤島信太郎、吉永虎馬

(於 白髮山國有林)

小川 吉本雅美、坂上榮長

本山 細川雅宰、片山鈴城、野村兼茂、樋口權之助、野口豊太郎

管内造林主任打合せ

八月九日午前八時より窪川管轄管内に於て町田造林課長、片岡技師、大古殿技師及左記造林主任出席の上開會。

先づ町田課長開會を宣し、注意事項(本誌巻頭掲載)を述べ、片岡技師は種子拂下規則(省令)拂下べき種子の種類價格及配給區域(省告示)設定に關する説明及山林局長通牒の造林用種子配給に關する件を詳細に説明せられ、直ちに

一 造林用種子實費拂下に關する件を協議して午後六時閉會

八月十日午前八時窪川出發、折合事業所に於て植田署長、有澤屬の説明により植田炭の製造状態、河籾飼育状況を視察し坂島山に小寺

技師探伐試験地概況を視、佐藤囑託これを説明、午後森ヶ内山國有林内に於て羽方主事は實地に羽方式間伐法を施行説明なし、森ヶ内、松葉川山消防隊の組織等について説明をき、午後六時松葉川作業所者、十一日解散。

尚、當日出席せし各署造林主任左の如し。

高松	署技師	荒井正幸
西條	"	石丸六郎
久万	"	森山一二
宇和島	"	藤井清
宿毛	"	赤羽虎雄
清水	"	江川正人
中村	"	藤井三郎
川崎	"	筒井榮之助
大正	"	藤原義通
窪川	"	土屋保石
須崎	"	森澤保佑
小川	"	重元巖
本山	署屬	山崎幸太郎
大柵	署技師	藤原一平
安藝	囑託	野崎治三郎
馬路	"	時井龍作
魚梁瀬	署技師	難波江伸一
奈半利	囑託	麻住盛鷹
野根	"	寺沼正夫
徳島	署技師	植松千春

山上に労働しながら

青年修養會

徳島縣三好郡三名村第八區養徳青年會は去る十九日より會員三十六名は海抜一、二一〇米二の星瀨山上徳島管轄管轄板野郡大山村官行造林事務所にて造林手入中の入夫として阿讃豫土四縣の峻峰を仰いで手入鎌の手付勇ましく酷暑の下に共同勞役に服して汗を流し午後六時の仕事終より講演となり高井講師は現下の國狀社會相三名村の現狀より三名村經濟更生計畫樹立の精神更生の必要を個々の具體例により最も詳細に説き感動を與へ尾形